

令和五年四月二十三日 信者心の基勉強会 家庭編

神 示

病氣 事故・災難に遭わず 天寿を全うする人々は皆

魂休まる家庭に身を置き 生きている

信者に申す

家族で「教え」を学び 「和のある家庭」の姿を知って

「真理」で互いに声掛け 関わる家庭を築く努力がほしい

この思いは 「開運」かなえる極意

ゆえに 神に希望は通る

家庭には 家人それぞれに 任と立場がある

その真理を知って関わるなれば

「仏の道」が通り 病気を引き込まない

立場をそれぞれがわかまえるほど

「人の道」が身に付き 事故・災難に遭わない

家庭は 運命を磨き 実体を修正する 魂の苗床

ゆえに 家族で教えに生きるほど 家族の運命実体は磨かれる

その家庭の「心の道」は 太く 強くつながり

「正道」をゆく人間が育つ

家庭教育の真実「真理」が ここにある

人間は 「真理」に生きて

神の手の中 天寿を全うできると悟るべし